

技の守り人 匠会通信

越後与板打刃物匠会

No.26 2016/12/21

ことしも充実した活動を続けてきました！

12月15日、地元の与板中学校から声をかけていただき匠会の出前講座を実施しました。これまで小学校では5回ほど4年生に鍛冶体験の指導を続けてきましたが、中学生対象の授業は今回初めて。しかも、授業を受けた2年生は、小学校4年生の時に鍛冶体験をした最初の子どもたちでした。地域の教育活動の中に根付いてきた「郷土の伝統工芸についてもっと知ろう」との目的意識に、なにか心強いものを感じます。



授業を終えての生徒さんの感想文を見せていただくと、「打刃物の歴史を知りとても貴重な技術が伝わってきたことを知った」

「与板のものは手作業で細かいところまで手が届いているんだなと思った」「女性のことを考えて作っていて、実際に使ってみただけで軽くて小さめでとても使いやすそうだなと思った」等々、きちんと私たちの話を受けとめて、実技を通して体感してくれたことが分かりました。次世代に受け継がれるべき技術を残したいという匠会結成時の願いが、少しずつ浸透していることを嬉しく感じたひとときでした。

夏の終わりに実施された「TANTON 木工教室@与板」も大好評のうちに終了しており、実際に参加していただいた方々からは「とても楽しく充実していた」との感想が寄せられています。中には「自分が集中するあまり匠会の方や指導して下さった



方々とゆっくり話せなかったのが残念。」
「鍛冶体験などもできたらもっと良かった。いっそのこと宿泊付きでやれたら。」
「レベル分けをしての教室もあると良い。ステップアップする企画を期待します」
の声もあり、次回の参考にしたいと思います。

2017年はさらなる飛躍の年にしたい！！
私たちは地域おこし協力隊募集を掲げ、「鍛冶職人」をめざす若者を求めています。そして与板が誇る鍛接・鍛造の技術を継いでくれる若者に、本気で教えていきたいと願っています。また、鍛冶の体験ができるチャレンジ工房を与板で開設することができたら、との夢の企画も動き始めています。



実現させるのは 私たちの「やる気」。
やれるかどうかは、やる気が決めるのです。